

「集約/ピボット」機能について

- 集約/ピボットコマンドには、集約機能とピボットテーブルの2つの機能があります。
- 集約機能は、分析対象のグループ列をキーに、集約対象列として指定した数値列の値を合計する機能です。集約された数値については、統計値を計算して表示することも可能です。統計値は27種類の中から自由に選択することが出来ます。

① 「ActiveData分析コマンド」グループ内の「集約/ピボット」をクリックします。

ActiveData分析コマンド

	A	B	C	D	E	F	G	
1	請求番号	請求日	支払日	顧客番号	営業担当者	製品番号	数量	単
8	20006	2010/1/1	2010/2/5	10653	19	58	2	
9	20007	2010/1/1	2010/2/27	10413	12	61	3	
10	20008	2010/1/1	2010/1/23	10654	12	4	3	
11	20009	2010/1/1	2010/1/26	10300	1	10	2	
12	20010	2010/1/1	2010/2/21	10439	19	38	4	
13	20010	2010/1/2	2010/2/6	10439	99	38	4	

② 「集約/ピボット」ダイアログボックスが開きます。

分析対象列

グループ

営業担当者番号

昇順

降順

列の追加

なし

昇順

降順

列の追加

なし

昇順

降順

集約対象列

請求番号

顧客番号

営業担当者番号

製品番号

数量

金額

四半期

OK(O)

キャンセル(C)

設定(G)

すべてをチェック

クリア

統計値選択...

オプション

合計を追加

統計値を列として表示

ピボットテーブル作成

統計値を追加

ヘルプ(H)

「集約/ピボット」ダイアログボックス 機能説明

グループを認識するための列を最大3つ指定します。小計はグループ単位に計算されます。

小計として、値を合計する数値形式の列を選択します。

分析対象列

グループ列

営業担当者番号 昇順 降順

列の追加

なし 昇順 降順

列の追加

なし 昇順 降順

オプション

合計を追加

統計値を列として表示

ピボットテーブル作成

集約対象列

請求番号

顧客番号

営業担当者番号

製品番号

数量

単価

金額

四半期

すべてをチェック

クリア

OK(O)

キャンセル(C)

設定(G)

ヘルプ(H)

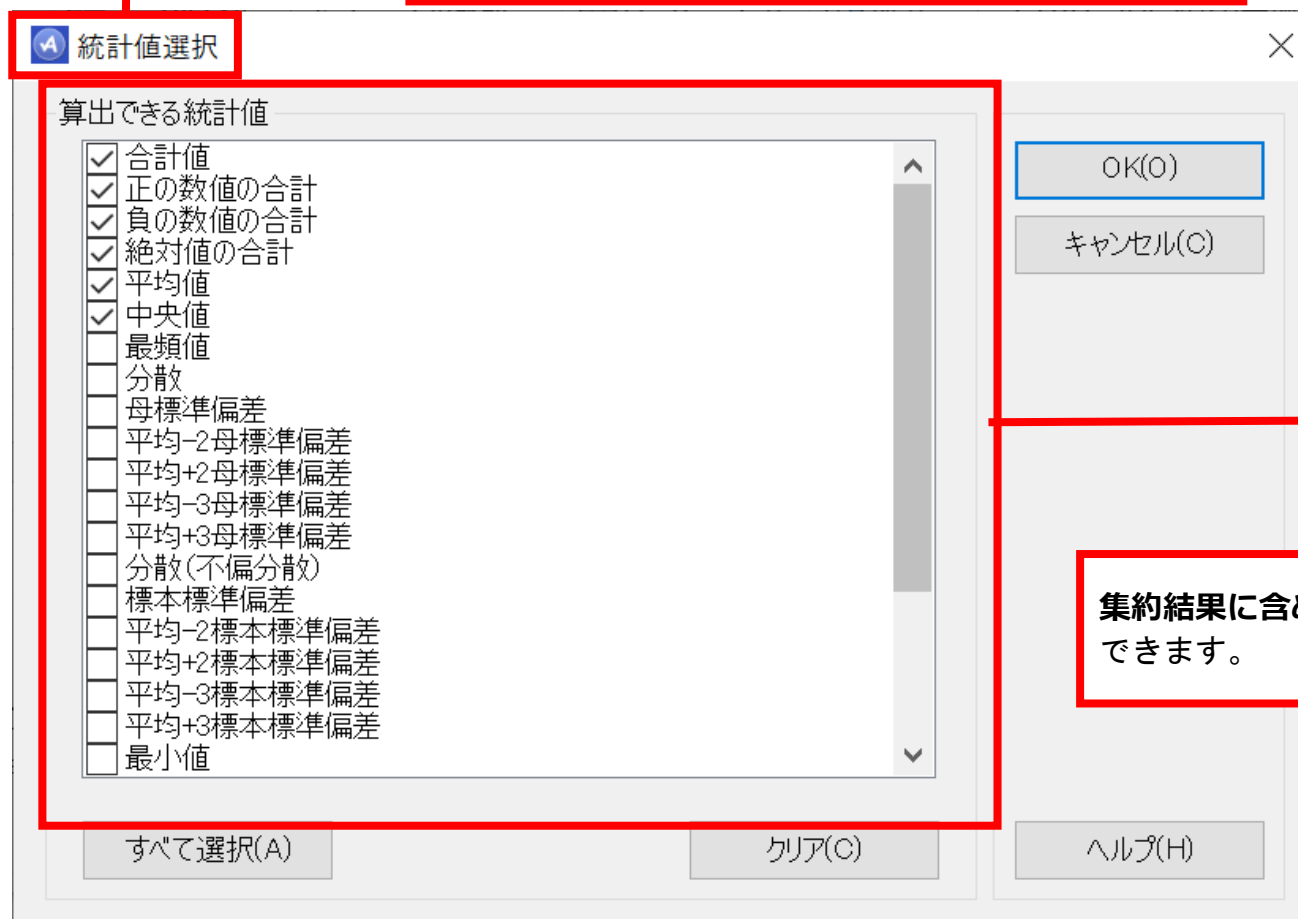
統計を追加

統計値選択...

このオプションをチェックすると、各グループの小計に加え、次項目の「統計値選択」で選択した統計値が表示されます。

「統計値選択」ダイアログボックス 機能説明

「集約/ピボット」ダイアログボックスで統計値選択をクリックすると、「統計値選択」ダイアログボックスが表示されます。



集約結果に含める統計値を選択することができます。

出力結果 (イメージ)

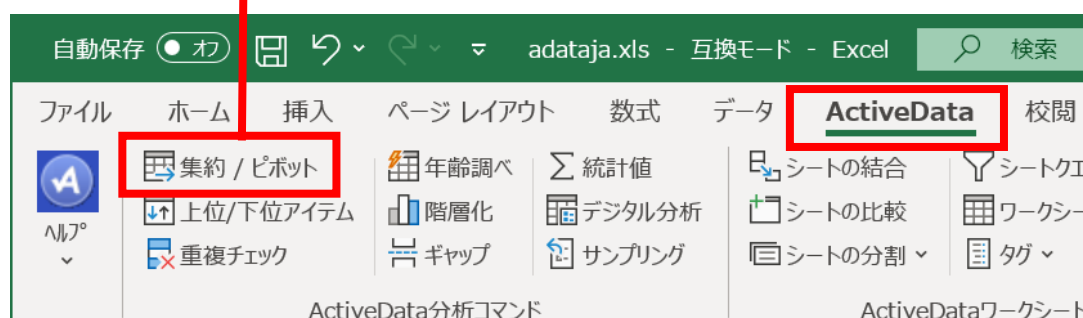
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	営業担当者番号	件数	金額.合計	金額.合計値	金額.正の数値の合計	金額.負の数値の合計	金額.絶対値の合計	金額.平均値	金額.中央値
6		5 195	378014.07	378014.07	378014.07	0	378014.07	1938.533692	897
7		6 217	448933.24	448933.24	448933.24	0	448933.24	2068.816774	796
8		7 189	353037.03	353037.03	353037.03	0	353037.03	1867.920794	892
9		8 171	300969.86	300969.86	300969.86	0	300969.86	1760.057661	796
10		9 201	398553.49	398553.49	398553.49	0	398553.49	1982.853184	796
11		10 196	401475.48	401475.48	401475.48	0	401475.48	2048.344286	807.5
12		11 206	431883.95	431883.95	431883.95	0	431883.95	2096.524029	837
13		12 225	430065.03	430065.03	430065.03	0	430065.03	1911.400133	916
14		13 217	399084.55	399084.55	399084.55	0	399084.55	1839.099309	716
15		14 210	524024.52	524024.52	524024.52	0	524024.52	2495.354857	809
16		15 179	334878.83	334878.83	334878.83	0	334878.83	1870.831453	819
17		16 204	460860.85	460860.85	460860.85	0	460860.85	2259.121814	837
18		17 184	346677.18	346677.18	346677.18	0	346677.18	1884.115109	694.875
19		18 223	534510.1	534510.1	534510.1	0	534510.1	2396.906278	897
20		19 209	389831.35	389831.35	389831.35	0	389831.35	1865.22177	779
21		20 218	587328.83	587328.83	587328.83	0	587328.83	2694.168945	916
22		21 212	914789.73	914789.73	914789.73	0	914789.73	4315.045896	1640
23		22 186	579574.62	579574.62	579574.62	0	579574.62	3115.992581	1598
24		23 189	581837.85	581837.85	581837.85	0	581837.85	3078.507143	1572
25		24 185	627891.19	627891.19	627891.19	0	627891.19	3394.006432	1432
26		25 204	900783.51	900783.51	900783.51	0	900783.51	4415.605441	1618.375
27		26 92	235648.65	235648.65	235648.65	0	235648.65	2561.39837	907.75
28		27 1	2546	2546	2546	0	2546	2546	2546
29		99 1	1072	1072	1072	0	1072	1072	1072
30	合計	4999	12074538.4						

請求(2010) 集約> 請求(2010)

「集約/ピボット」機能について

- ピボットテーブルは、Excelのピボットテーブル機能と同じものですが、ユーザーが使いやすいように入力画面が簡略化されています。

① 「ActiveData分析コマンド」グループ内の「集約/ピボット」をクリックします。

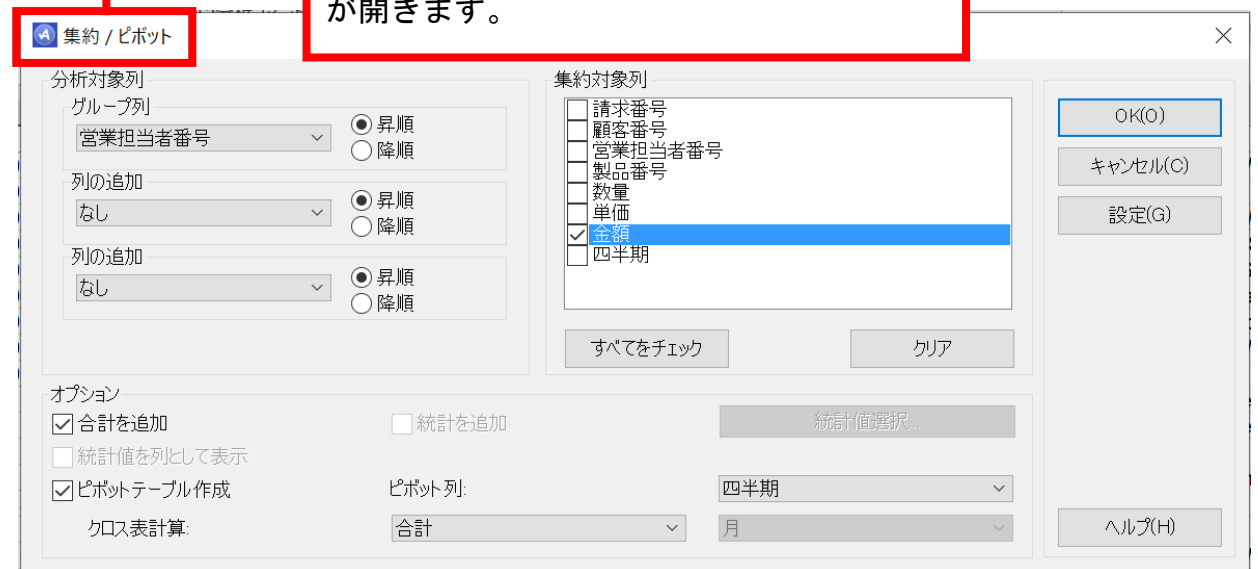


ActiveData分析コマンド

ActiveDataワークシート

	A	B	C	D	E	F	G	
1	請求番号	請求日	支払日	顧客番号	営業担当者番	製品番号	数量	単
8	20006	2010/1/1	2010/2/5	10653	19	58	2	
9	20007	2010/1/1	2010/2/27	10413	12	61	3	
10	20008	2010/1/1	2010/1/23	10654	12	4	3	
11	20009	2010/1/1	2010/1/26	10300	1	10	2	
12	20010	2010/1/1	2010/2/21	10439	19	38	4	
13	20010	2010/1/2	2010/2/6	10439	99	38	4	

② 「集約/ピボット」ダイアログボックスが開きます。



集約/ピボット

分析対象列

グループ列

営業担当者番号

昇順
降順

列の追加

なし

昇順
降順

列の追加

なし

昇順
降順

集約対象列

請求番号
顧客番号
営業担当者番号
製品番号
数量
単価
金額
四半期

すべてをチェック

クリア

OK(O)

キャンセル(C)

設定(G)

ヘルプ(H)

オプション

合計を追加

統計値を追加

統計値を列として表示

ピボットテーブル作成

ピボット列:

四半期

クロス表計算:

合計

月

「集約/ピボット」ダイアログボックス 機能説明

グループを認識するための列を最大3つ指定します。小計はグループ単位に計算されます。

小計として、値を合計する数値形式の列を選択します。

集約 / ピボット

分析対象列

グループ列

営業担当者番号

昇順
降順

列の追加

なし

昇順
降順

列の追加

なし

昇順
降順

集約対象列

請求番号
顧客番号
営業担当者番号
製品番号
数量
単価
 金額
 四半期

すべてをチェック
クリア

OK(O)
キャンセル(C)
設定(G)

統計を追加

統計値を列として表示

ピボットテーブル作成

クロス表計算: 合計 月

ヘルプ(H)

ピボット列:

ここにチェックがあるとピボットテーブルが作成されます。

ここで選択された列はピボットテーブルの上部に表示される列タイトルになります。グループ列はピボットテーブルの左側に表示される行タイトルとなります。

	A	B	C	D	E	F
1	合計 / 金額	四半期				
2	営業担当者番号	1	2	3	4	総計
15	13	62023.8	150153.65	80777.8	106129.3	399084.55
16	14	105982.01	88531.9	164989.35	164521.26	524024.52
17	15	72886.29	122778.34	39041.5	100172.7	334878.83
18	16	73547.6	107370.15	125023.4	154919.7	460860.85
19	17	110583.53	73722.7	45404.8	116966.15	346677.18
20	18	102057.4	154252.06	126479.2	151721.44	534510.1
21	19	102860.57	56523.25	130695.53	99752	389831.35
22	20	155878.25	101291.98	151721.4	178437.2	587328.83
23	21	302030	185566.8	248933.85	178259.08	914789.73
24	22	223418.22	100338.3	167277	88541.1	579574.62
25	23	124115.35	124056.4	126968.9	206697.2	581837.85
26	24	136655.4	125590.33	221390.8	144254.66	627891.19
27	25	296124.7	276328.95	109452.98	218876.88	900783.51
28	26	59171.98	96089.97	32670.3	47716.4	235648.65
29	27	2546				2546
30	99	1072				1072
31	総計	3139383.74	2813299.95	3162248.06	2959606.65	12074538.4
32						